

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（交通施設：中型バス）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	福岡県芦屋町幸町2番20号						
補助事業の成果の目標	芦屋町には鉄道路線はなく路線バスが主要な公共交通である。 芦屋町では、平成30年3月に町立病院の移転があることから、路線を大きく見直すことになり、現状路線より走行距離が増え、現便数を確保するには台数が足りないことから、中型車両の購入を行い、高齢者や通勤通学者の移動円滑化と地域公共交通の充実及び確保、維持を図る。						
補助事業の内容	中型バス購入 1台						
補助事業の始期及び終期	平成29年度(平成28年度から繰越)						
事業費及び交付金額		28年度	29年度 (28年度 から繰越)				計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		23,760,000				23,760,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	事業成果として、平成30年3月の路線見直し以降も現行の便数を平日維持（土休日拡大）することができた。評価として、利用者からの聞き取り調査を行い、概ね満足との回答を得た。 また、地域住民への周知は、バス車内に特定防衛施設周辺整備調整交付金により購入した旨を記載する。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（社会福祉施設：緑ヶ丘保育所空調設備等）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町緑ヶ丘3番41号						
補助事業の成果の目標	<p>緑ヶ丘保育所は、芦屋町南部に位置し、0歳から5歳までの児童約90名を保育している。施設は昭和58年度に建設され、平成26年度に1階空調設備等の改修工事を行ったが、当時の利用状況から2階保育室の空調設備は撤去のみ（新規設置なし）行った。</p> <p>現在、2階保育室2室は子どもの感性や情緒、時代の要請に応える基礎的素養を育むための絵画教室、英会話教室等を行う特別教室として活用されているが、夏・冬を除く気候の良い時期のみしか利用できていない。</p> <p>このことから、2階保育室の空調設備等を改修し、室内環境を整備することで、保育活動の充実を図るものである。</p>						
補助事業の内容	空調改修・内部改修						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 10,783,000	円	円	円	円	円 10,783,000
	交付金額	10,783,000					10,783,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業所の報告により、特別教室にて絵画教室の利用を月に1度、英会話教室を月に3～4回実施していることを確認し、特別教室利用時は空調も利用していることも確認した。</p> <p>また、保育士へ聞き取りを行い「お茶教室では普段落ち着きがない子どもも落ち着いて保育できるようになり、よい雰囲気の中で茶道の文化を体験できている。」「絵画教室では広い教室の中でのびのびと活動できるようになったので、子どもたちをいきいきと活動させながら保育ができるようになった。」等の意見が寄せられており、子どもの保育環境が改善されていることを確認した。</p> <p>周知については、工事看板、町ホームページに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」であることを掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（社会福祉施設：山鹿保育所遊具）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町山鹿96-2						
補助事業の成果の目標	<p>山鹿保育所は、芦屋町北部に位置し、0歳から5歳までの児童約70名を保育している。</p> <p>現在、既設の中床型複合遊具は、設置から16年経過しており、老朽化が進んでいる。また、高さが高く、低年齢の児童には利用させていない。3歳以上についても、保育士が見守りできない時は利用させていない。</p> <p>このことから、低年齢児から利用できる低床型の遊具に更新することで、児童の安全と保育事業の充実を図るものである。</p>						
補助事業の内容	遊具設置 1基						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 3,244,315	円	円	円	円	円 3,244,315
	交付金額	3,244,000					3,244,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>保育園長、副園長(保育士)に、遊具の利用状況や保育環境の改善状況について聞き取りを行ったところ、「外遊びができる日はいつも利用している。これまで利用できなかった2歳以下の子ども利用できるようになり楽しく遊んでいる。」「低床型になったことで危険度が減り、安心。先生の見守りの負担感も軽減された。」等の意見が得られており、児童福祉の充実が図られている。</p> <p>周知については、工事看板、町ホームページに「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」である旨を記載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：防犯街灯）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町 栗屋区ほか						
補助事業の成果の目標	経年による劣化・腐食等により機能に支障をきたしている防犯街灯の取り替え及び未整備箇所への新設を行い、生活道路や通学路の夜間における犯罪や事故を抑止し、住民の安心安全を確保する。						
補助事業の内容	防犯街灯設置・取替工事266灯						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～平成29年度						
事業費及び交付金額		28年度	29年度				計
	事業費	円 14,867,280	円 14,722,560	円	円	円	円 29,589,840
	交付金額	14,854,000	14,722,000				29,576,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事対象区域の住民に整備後、アンケートを取り、事業の評価を行った。</p> <p>アンケートの結果、整備工事により危険箇所が減り、防犯及び交通等の安全に寄与しているとの意見があった。また、蛍光灯からLED灯に変更したことにより、見通しがよくなり安全性が向上しているとの意見もあり、住民の安心安全の確保を達成できた</p> <p>周知については、地域住民へ町ホームページにて、特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施した旨を掲載している。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：消防ポンプ自動車）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	福岡県遠賀郡芦屋町山鹿1番地						
補助事業の成果の目標	老朽化が進んでいる現在の消防ポンプ自動車を更新配備することにより、災害現場への速やかな参集と火災を中心とした災害対応力の強化が期待でき、地域の安心・安全と地域防災力向上に資する。						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車(CD-1型) 1台						
補助事業の始期及び終期	平成29年度						
事業費及び交付金額		29年度					計
	事業費	円 21,459,600	円	円	円	円	円 21,459,600
	交付金額	21,459,000					21,459,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>事業成果として、平成30年3月の消防ポンプ自動車を更新配備後、警戒出動を行い、従来よりも迅速な活動が可能になったことが確認できたため、地域防災力の強化・向上に大いに貢献していると評価している。</p> <p>また、芦屋町ホームページ(平成30年4月1日)及び広報あしや(平成30年5月1日号)において、特定防衛施設周辺整備調整交付金により購入した旨、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（交通に関する事業：芦屋町バス運行事業基金）							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町							
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町において、鉄道路線はなく路線バスが主要な公共交通であり、高齢者や通勤通学者の生活に欠かせないものとなっているが、利用者の減少及び行政の財政負担の増加が課題となっている。</p> <p>このため、事業主体であるバス運行事業の利用促進策を講じながら、地域公共交通の充実及び確保、維持を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋タウンバス年間利用者数:約90,000人 ・町内巡回バス年間利用者数:約36,000人 							
補助事業の内容	芦屋タウンバス及び巡回バスにおける運行費用に充当。							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成37年度まで							
事業費及び交付金額			27年度まで	28年度	29年度			計
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円	円	円
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益	0	45,001	59,994			104,995
		計	20,000,000	26,664,001	26,811,994			73,475,995
	基金処分額	0	20,000,000	26,723,995			46,723,995	
	基金残額	20,000,000	26,664,001	26,752,000			26,752,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>芦屋タウンバスについて、運行事業者の毎月の利用状況を確認したところ、年間利用者数が99,460人、町内巡回バス(無料)については、年間利用者数は32,844人となっており、おおむね例年どおりの利用者数であった。本基金により安定的な事業運営ができ、地域公共交通手段の充実及び確保ができたことを確認した。</p> <p>また、周知については特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)により助成されている旨をバス車内へ掲示し、地域住民へ周知を行った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：学力向上事業基金）							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町							
補助事業の成果の目標	<p>芦屋町立小学校及び中学校では、児童・生徒が確かな学力を身につけるために、毎年度、きめ細やかな指導を行えるような人的配置を実施している。</p> <p>このため、学力向上事業基金を設置し、35人学級、少人数対応、小中一貫、イブニングスタディへ講師を配置することにより、児童・生徒に応じたきめ細やかな学習指導を充実させ、基礎的な知識や技能の習得を通じて学力の向上を図ることを目的とする。</p>							
補助事業の内容	常勤、非常勤講師の雇用							
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成37年度							
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度			計	
	基金造成額	交付金額	円 28,564,000	円 21,160,000	円 26,752,000	円	円	円 76,476,000
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益	0	64,270	72,198			136,468
		計	28,564,000	21,224,270	26,824,198			76,612,468
	基金処分額	0	17,700,000	20,000,000			37,700,000	
	基金残額	28,564,000	32,088,270	38,912,468				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>各学校長にヒアリングを行った結果、「講師の加配により、児童・生徒に対して、きめ細やかな指導を行うことができたため、児童・生徒の知識や技能の理解を高めることが出来た。」という意見が得られ、本事業が児童・生徒の学力向上に寄与していることを確認した。</p> <p>また、地域住民にはHPにて、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用している旨を掲載することで周知を図っている。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業(医療に関する事業:芦屋町乳幼児・子ども医療費助成事業基金)							
補助事業者名	芦屋町長							
実施場所	芦屋町							
補助事業の成果の目標	芦屋町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、中学生以下の子どもの医療費助成を行っている。 このため、芦屋町子ども医療費助成事業基金を設置し、保護者の自己負担分へ助成金を充てることで、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。							
補助事業の内容	芦屋町子ども医療費の支給に関する条例により支給する費用で、次の各号に掲げる額の全額又は一部の額について充当するものとする。 (1) 中学校1年生から3年生までの自己負担分相当額 (2) 子ども医療費支給事業費県費補助金交付要綱に定める3歳以上の所得制限により対象から除かれた者に係る自己負担分相当額 (3) 子ども医療費支給事業費県費補助金交付要綱に定める3歳以上の定額自己負担相当額							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成37年度まで							
事業費及び交付金額 (単位:円)		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	計	
		円	円	円	円	円	円	
	基金 造成 成額	交付金額	211,314,000	50,772,000	1,000,000	0	0	263,086,000
		市町村費 等	0	0	0	0	0	0
		運用益	35,646	292,870	483,999	681,072	392,804	1,886,391
		計	211,349,646	51,064,870	1,483,999	681,072	392,804	264,972,391
		基金処分額	30,000,000	18,000,000	22,000,000	20,000,000	16,000,000	106,000,000
	基金残額	181,349,646	214,414,516	193,898,515	174,579,587	158,972,391	158,972,391	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	29年度の医療費助成件数は、13,849件であり、対象者へのアンケート調査を実施した結果、全対象者から「子育て世帯の負担軽減に役立っており、本事業の継続を望んでいる」との回答が得られ、子育て支援に寄与することができた。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)で行われている旨を、広報誌及びHPに掲載をすることにより、地域住民へ周知を図った。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							